第 47 回 PaFaCC 勉強会 参加者のご感想の一部

・ 座談会というかたちもとてもよかったです。移行期支援についてとてもためになりました。

・ 自施設や自身の課題について、他施設でも同様なことを課題と感じられており、具体的な対策を聞くことができ自施設に置き換え検討してみたいと思いました。また、小児看護に対して、熱い思いでいるお声を聞くことできて、すごく励みになりました。

・ 移行期支援について興味深いお話を伺いました。今後の関わりについて考えるきっかけになりました。参加させていただき、ありがとうございました。

・ 皆さんのお顔を見れて、元気をもらいました。思ったより打ち上げ花火が高く上がって怒られても、ストレッチャーが通れないと怒られても、やめろと言われてないので、引き続き頑張ろうと思います！ありがとうございましたー^ ^

・ 皆さんの日頃悩んでいることをお聞きし、自身も働いていた頃にどうしたらいいのだろう、と思うことがあったので、お話を聞くことができてよかったです。特に成人移行に関しては、小児専門病院ですと、必ず他の成人の病院に移らなければならないので、その点がご家族にとってハードルが高く、かなりのエネルギーが必要なのではないかと感じます。まだ勉強不足・知識不足で、全国の他の小児専門病院では、どのようなステップで成人移行を進めておられるのかわからない部分がありますが、三重大学病院の取り組みを伺い、やはり、伴走者となる看護師が、そばに付き添い、アドボケイトとなることで、患者様ご家族は安心感を抱くことができるのではないかと感じました。他の病院へ移行する際も、小児科の看護師が付き添うことで、患者様ご家族の不安が少しでも軽減するのではないかと考えます。
長文となり申し訳ございません。また機会がありましたら参加したいです。ありがとうございました。